

「さあ困った、こんな時どうする」パブリックコメント募集（第1報）

第61回 日本輸血・細胞治療学会総会では、輸血検査技師対象のリフレッシュコースを総会の2日目となる2013年5月17日(金)と3日目の5月18日(土)の両日に企画しました。

このリフレッシュコースでは第60回総会プログラムで好評であった「さあ困った、こんな時どうする」を再度企画しパブリックコメントを募集することになりました。下記のテーマを採り上げる予定ですので、「実際に困った状況に遭遇した経験の話」や「演者に質問したいこと」など、各テーマに関するご意見・ご質問をお気軽に投稿してください。皆さんから寄せて頂いたパブリックコメントを「こんな時どうする」の企画準備のために活用させていただきます。

パブリックコメントの受付開始日や募集要項は、今後の学会誌会告および日本輸血・細胞治療学会ホームページ（または第61回日本輸血細胞治療学会HP）に掲載致します。

【2日目（Part I）の内容】

- ①輸血後 Hb 値の改善が認められない。
- ②術中患者の追加輸血を依頼されたのに在庫の赤血球製剤が足りなくなった。
- ③輸血後に患者が呼吸困難に陥ってしまった。

【3日目（Part II）の内容】

時間外で困った状況に遭遇した場合の、輸血検査の minimum requirement として、

- ①新生児への交差適合試験で陽性を示した場合。
- ②血液型判定に苦慮した場合。
- ③他院から輸血をされながら患者が転送されて来た場合。

なお、コメントが多数の場合、当方事務局にて質問を選択させていただきます。ご了承ください。